

刊夕 日八十二月八



日但日曜日... 刊一十月二五... 廣告料一行四十... 發行所 石城郡... 郵便番号 石城郡...

モンスーンは季節風の... 季節的に一定の方向を... 吹く風、印度洋に七、... 八、九月頃の風が吹... いて降雨をもたらす一... 名貿易風とも云ふ綿作... 其他に大關係を有する

石城聯合分會主催

第八回の武術大會

射撃、銃劍、軍刀術の三種に
選手二百四十名の合戦

石城在軍聯合分會主催の第八回武術大會は既報の如く來九月一日午前八時から晴雨に拘はらず左記三ヶ所に於て催される競技は射撃、銃劍術、軍刀術の三種で郡内四十個分會から一種に對し各二名づゝ二百四十名の選手間に競ふ奮戦は目醒ましきものあるべく優勝の榮譽は何れの分會に制せ

愈よ竣功する

植田の小濱漁港

七萬五千圓の匡救事業だけ
だがまだ不十分

石城郡植田町小濱の漁港修築は去る昭和七年から九年に至る三ヶ年繼續に七萬五千圓を投じて工事中であつたが荒天毎の海砂の流入に締切りは不

初秋繭の初取引

昨年の三倍値

買馴れ四十圓三十錢

石城販利經營の四倉繭市場は昨二十七日か、開場したが當日の出荷は僅かに百十貫で平山崎、若林の地元製糸家外五名の買手出場に相當の買氣乘りを見せたが當日の初取引は左記の如く買馴れ四十圓三

女給の遠出御用心

然も男はお尋ね者

湯本町山形屋旅館若松康平方へ去十九日來投宿してゐた若い女連れ一見商人風五十才前後の男があり夫婦取りで盛んに痴話狂い女中共に見せつけてゐたが二十六日正午頃一寸買物に行くに稱し女を残して出たまま歸宿しないので不審に思つた同旅館で女に勘定を請求した處で中ビタ錢一文も持つてゐず無銭宿泊で平署に突き出された、取調の結果此の女は田村郡守山町生れ龍太郎二女當時郡山市驛前浦よしカフエー女給上石ま三子（二七）で十八日カフエーに飲み來た金持らしい商人風の男

旅館の一室で

青年客劇薬自殺

不治の肺患に前途を悲觀
昨夜湯本町越後屋で

田村郡大越村大字大越生れ龍神田音次（三三）は二十六日午前十一時湯本町字三响旅館越後屋鈴木太郎方に投宿した

飯場頭の實印を盗み

土工勞銀を横領

無錢遊興常習の不良鮮人
今度こそ愈々年貢時

過般第二次ダニ狩りで平署に檢査された江名町永崎居住同町上水道工事人夫朝生れ木村榮松事林順九（三九）一先ず釋放されてゐたが今度は無錢遊興で擧げられた、去る二十一日小名濱町料理店大塚ハル方で金は十圓位あるぞと力んで登樓し鴨御堂なれと喜んだ同家では一家總動員でサビスに努めたが結局此の飲食遊興代十八圓七十錢の勘定書を出されて始めて懐中には一文もなし、

ダイナマイトを使用し

密漁者二人重傷

昨夜好間川で鮎取り中に

好間川字上好間川炭礦坑際突然爆發してゐた渡邊は夫渡邊資雄（三三）は同村炭金成信術（三三）と共に昨二十七日夜附近の好間川上流でダイナマイトを使用して密漁中點火した雷管を川中に裝填する一

別世界之記

夢之助

らべると、電燈の前のランプの様に見劣りする事は、知人の中のあの人の人と探して見れば、成る程と頷かれる事。先年有名な音楽の先生が來らるる。ピアノの上で亂舞する。先生の十本の指の妙技には感心させられたが、それにも増して感心させられたのは先別世界の別荘に歸らなければ

選舉取締り

署長會議

廿九日平署で

明二十八日平署會議室で開かれる選通り各署部長級以上幹部署員の選舉法講習會臨席の品田警察部長は二十七日十一時自動車で郡山出發午後二時平署着後藤檢事正も今夕まで來平の筈である向二十九日の講習會終了後二十九日午前十時から同署に濱通り植田、中村、小野新町の各署長會議を開き品田部長から選舉取締りの虎の巻と言ふべき重要訓示を與へる筈で此の署長會議によつて目前に迫る今秋縣選戰の取締方針が決定するので各方面から非常に注目されてゐる

今宵赤井の

藥師大祭

空前の入出

老婆家出

郡山市長者町四〇木戸久助方須登（五七）は去四月二十六日温泉に湯治して來ると稱し家を出たまま、今日まで歸宅しないので八方捜しした處ヨネの朝が平町片倉製菓工場に火夫をしてゐるので同人を尋ねて危介になつてゐる事が判つたので昨廿七日平署にヨネの取押へ引渡し方を願ひ出

平署では例の大發取り締りのため渡邊、渡邊温兩部長が隊長となつて選り抜きの腕ツ節の強い新撰組警官隊を派遣した

小玉川の

水電調査

石城郡小玉川水力電氣工事に對し昨二十七日縣から照岩技師出張現地調査を行つたが今二十八日は機軸の調査をなす筈で尚同技師は宮崎縣の河川技師から最近本縣に榮轉した初見の地であるため二十九日は鯉川農業水利工事その他を視察する

郷土史抄

故濟先生の遺影を偲ぶ

(瀧川家の史料採訪)

鮫川 漁史

惟ふに新政泉藩官員の遺徳は、褒の成後役に際して謂はゆる恭順を主張せし士を以て殊更に採用した形跡が認められよう。桑原、平野、北郷の諸輩皆然りでないか若し松井が生存してゐたならば、無論その首位を與へられたであらう。況んや松井と平野は、常に別交の仲に於いてをやである。

近世末に及ぶも士氣尙ほ滔々たる時代陸奥入口の險たる弱小泉藩に於いて、其の名もなき微士瀧川濟は、戊辰の戦端前後にあつて、終始勤王を實行し、東征の參謀は既に彼れを見出し、特に世良參謀とは同門の舊友であつた。かくて奥羽列藩連袂して降伏し一視同仁の王政に浴するに至り、才識ある者は士民を分かたつて登用されることになつた。濟の先登桑原、平野、北郷以下の往年に於ける大義名分の同志は、早くも自藩の要職に就いたが、濟は其の適に末席で、謂はゞ今日の雁同然であり、後ち漸次判任待遇となつたが、終ひに奏任には阻るを得なかつた。

明治初政に於ける彼れの純官史たる履歴は此に揚げるのは甚だ歎しいが、他にも少しく關係あるから、左に出して置く。

警備隊官士族 元 泉藩
刑務局補助申付候事 瀧川 濟
明治己巳二年二月 泉藩
按察府御用掛申付候事

明治己巳二年八月 按察府
任按察少主典

明治己巳十二月十三日
從四位
守按察次官藤原朝臣俊章 宣
從五位
守按察判官源朝臣清 奉行

しづかに	食事の出来	る	正しい食堂	正しい喫茶	正しい酒場
------	-------	---	-------	-------	-------

平田町
レストラン サロン
電三五二

町屋紺平
藤沼醫院
電五〇七番

清爽簡易な
サンマードレス
……婦人用とお子さん用……
特價品豊富陳列

にツルヤ
平四電一四〇

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇
平田町 電二五八番

便利で
經濟な
日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です

會員(同志)の
御加入を御誘
ひ致します
暇に裁縫や
編物を御教
授致します

平田町十八番地(西村屋横町)
日下家政婦會
會長 日下すい子
電話(呼)一八九番

産科 婦人科 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 立蕃彌一

平田町新川町九一
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平田町 電話五一三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

目科療診
一、齒科 一般
保存科、補綴科、齒槽膿腫科、
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿腫科、
レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 中野 惠次
醫學士 日本齒科 西川 誠
平田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

貨物運送 高倉

良品廉價 高倉

高倉 高倉

高倉 高倉

毎度御引立を蒙り御厚情深謝致し
ます、今回當店に於て貨物自動車
部を新設し金成自動車部を專屬と
して三十五年式新車を以て貨物一
般の運輸に従事致しましたから倍
舊の御用命と御利用の程を偏へに
御願上ます、

親切 迅速 安全 第一
鐵道、貨物一般
小口 取扱
貨物自動車運輸
電話二六七番
三清宮運送店

自動車の御用は……電話二六七番
へ願ひます
金成自動車部

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内 正一
電話一六番
事務取扱者 阿部 助次郎

新時 附屬事業に等外看護婦部を特
代の 設いたし皆様の御用向へ身元
要求 確實なる婦人を派出致します

平看護婦會

平田町 電話三〇七
會長 清野 幸三
御手不足の御家庭輕
い御病人の付添妊婦
産婦の御家庭

(磐城共濟病院) 福島縣平田町電六四一

内科 院長 醫學博士 石山 謙
小兒科 部長 醫學士 藤 尚
産婦人科 部長 醫學士 五十嵐 雄二
外科耳鼻咽喉科 部長 醫學士 大町 久藏
皮膚泌尿科 部長 醫學士 山 澤
器病科花柳病科 部長 醫學士 山 謙
X線科 部長 醫學士 山 謙
藥局 藥劑師 吉本 孝平
事務局長 鈴木 寶雄
(毎日午前八時より午後十時迄診療)
……病室完備……入院隨意……

好評 たる各種優秀藥

大衆酵母劑
カケレー (三十三日分)
定價 二圓
強力驅毒劑
スピロイン (定價 二圓)
五圓 十圓
平田町五丁目角

特約販賣店 **山野邊藥局**